

## 1. 女川現況

## 2. 活動報告

(1) アジサイ運搬(3/15, 16)

(2) 女川桜守りの会の活動に参加(3/16)

＜総会・大漁桜の植え付け・堆肥の切り返し＞

## 3. 大六天山ハイキング(3/17)

## 4. 地藏堂工房見学(3/18)

## 5. その他

(1) 今年のOB山行予定

(2) 富川さんのこと(3/15)

(3) 原田さんが見た女川～大船渡の状況

TUWV OB 9期、チームしらかし華の会、平塚高等職業技術校OB) 伊藤 健一

TUWV OB 9期、女川桜守りの会) 原田 博夫

# 1. 女川現況：復興が ゆっくりですがと 進んでいます。

## (1) 町中心部

2011年4月11日



2012年10月1日



2013年3月16日



女川町中心部では、更地化を終え、盛り土による5mのかさ上げ工事が始まりました。交差点何箇所かに交通信号も設置されてます(…ちょっと不便になりました)。

## (2) 瓦礫回廊

2011年9月17日



2012年4月26日



2013年3月16日



**清水地区では、瓦礫の分別処理や廃屋ビルの撤去が進み、一面の更地になりました。**

### (3)トピックス： 新しい宿泊施設・JR石巻線

昨年12月に、日本初のトレーラーハウス宿泊村“El Faro”（スペイン語で灯台）が清水地区の奥に誕生！



原田さんと泊ってきました。  
二人部屋の真ん中にアコーディオン仕切りもあって、寝も気にならない？



朝食付きで1泊 5000円／人程度。  
→ 0225-98-8703

とても綺麗です！！ 三人部屋はロフト(中2階)付き。

### 昼食・夕食は町の食堂で！

穴子丼



海鮮丼



JR石巻線が、3月16日、  
女川町の満宿駅まで開通。



ブログ“仮設暮らしと山歩き”より

## 2. 活動報告

### (1) アジサイ・大漁桜用ポリポット運搬

5月にチームしらかし華の会が女川でアジサイを植え付ける予定です。このためなるべく多くの苗を運んでおくべく、トレーを載せる棚を作って運搬しました。



復興支援センターに置いてきた2年物苗

### (2) 桜守りの会総会後の大漁桜植え付け



日本花の会のご指導のもと、大漁桜50本を植え付け、風で倒れないよう、半分地面に埋めてできあがり。まだ地植える場所は決まらないのです。



8本くらい、仮設商店街の空き地スペースに地植えることになり、子供達が手伝ってくれました。

### 3. 大六天山ハイキング

A: 大六天山より、女川湾・出島方面を望む



B: 大六天山より万石浦・石巻方面を望む。



女川町ネーチャーガイド協会が発足しました(藤中さんが事務局長!)。きれいな海を眺めながらの山歩きを案内してくれます。



左から二人目は女川在住の石原さん  
・・・メチャクチャ早いので驚きました。

詳細: 藤中さんブログ

“お散歩、ヘムレンさん?”

<http://blogs.yahoo.co.jp/snfkin1984/24720433.html>参照

## 4. 地藏堂工房見学

### (1) 経緯

- \* 女川の津波桜の切り株から、京都の仏像師小田さんが来春3月11日を目標にお地藏様を製作中(前回レポート参照)。
- \* お地藏様を祀るための“地藏堂”も必要。木工仲間の丸山さんが 埼玉県蓮田市に地藏堂を作る工房があることを調べてくれ、女川からの帰り、丸山さんと見学に行った。丸山さんと私とで作れるものかどうか、考えるためである。

### (2) 見学



銅葺きの下は防水シート。  
見学しないとわからない。



地藏堂を載せる台座は  
ブロックで作れそう。

荒彫り段階のお地藏様。  
ゆっくり乾燥させながら  
仕上げていく(小田さんより)。



西川産の総檜作り、屋根は銅葺き。  
ハイグレード仕様で39万円。檜部分は  
作れると思うが、銅葺きは難しそう。  
我々が作って材料費がいくらになるか  
も課題(丸山さんが見積もり中)

工房代表の細井さん。2000年に  
工房を開き、一人で各種祠の他、  
囲炉裏の自在鉤等も作る達人。  
親切にいろいろ教えてくれました。

## 5. その他

(1) **今年のOB山行**: 藤中さんとも相談し、下記にて行いたく、よろしく願います。

\* **日程**: 9月7日(土)、8日(日)

\* **登る山**: 大六天山の他、石投山とか望郷山とかいろいろあり、藤中さんにおまかせです。  
なお、3月23、24日に拓哉さんが女川ネイチャーガイド協会で安全基礎技術の講習会を開いてますので、安全面はお墨付きです。

\* **宿泊**: **トレーラーハウス宿泊村“El Faro”**を予約しました(9月7日1泊)。

\* 一応、昨年の磐梯山山行の参加者14名をベースに、3人部屋5部屋の予約です。  
1ヶ月前には人数を確定してほしいとのことです。 **第一次の参加希望連絡を4月中に、最終確定連絡を7月末まで**に願います。

(2) **富川さんのこと**: 原田さんと15日に、宇都宮の富川さんのお見舞いに行ってきました。  
石野さんからの連絡によるもので、話を聞かせてもらったら、以下の状況でした。

・1/18高熱のため病院に行ったら即入院。翌日から容態急変。赤血球濃度極端低下。

10日後、意識が戻り、リハビリを経て2/25にようやく退院。

以後リハビリ継続。直接原因は勘三郎と同じ肺炎(ARDS: 急性呼吸窮迫症候群)ですが、富川さんは4、5年前から抗ガン治療を行っており、その場合、なりやすいそうです。  
会ったときは自分で歩けていて、大分良くなっているようでした。9月のOB山行には是非参加するとのこと。  
近くに行くことが会ったら、励ましに行ってください。





### (3) 原田さんが見た女川～大船渡の状況 (以下、撮影・文責: 原田さん)

3月17日、大六天山を登った後、伊藤さんは蓮田に向かい、原田は大船渡まで足を延ばしました。女川以外の現況を見るのと、今年の年賀状で安否の分かった大船渡にいる友人に会うためです。



石巻市 雄勝伝統産業会館



石巻市大川小学校(北上川対岸より)



南三陸町(右端は防災対策庁舎)



気仙沼港(漁船、右側は手付かすの棧橋・被災建物)



気仙沼市 第十八共徳丸(県道脇)

### (3) 原田さんが見た女川～大船渡の状況 (つづき)



陸前高田市 奇跡の一本松



大船渡市 市街



陸前高田市 浄化センター(下水処理場)  
窒素除去を目的に新方式で設計された施設も被災



大船渡市 細浦  
被災した船着き場